

モスピラン[®]ジェット

(MOSPILAN JET)

登録番号 第19326号
 種類名 アセタミプリドくん煙剤
 acetamiprid
 殺虫剤分類 4A
 性状 類白色発煙性中空円板状
 外径65mm 内径20mm 高さ16mm 1個50g
 有効年限 4年

有効成分 アセタミプリド 15.0%
 毒性 医薬用外劇物
 包装 (50g×5錠)×10パック×4箱

■特 長

1. 本剤は、アブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類等の難防除害虫に優れた効果があります。
2. 新しいタイプの殺虫剤（ネオニコチノイド系）なので、有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤などに効きにくくなった害虫にも、よく効きます。
3. くん煙剤なので、ハウス内の湿度を高めず、作物への汚れが少なく、果菜類には収穫前日まで使用できます。

■適用害虫名及び使用方法

(2020年11月25日現在)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
いちご	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	アブラムシ類 アザミウマ類	くん煙室容積 400m ³ 〔床面積200m ² 〕 ×高さ2m 当り50g	収穫前日まで	2回以内	3回以内 〔粒剤の株元散布および土壌混和は合計1回以内、散布およびくん煙は合計2回以内〕	くん煙
トマト ミニトマト		コナジラミ類 ミカンキロアザミウマ			4回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙および定植後の株元散布は合計3回以内〕		
きゅうり		コナジラミ類			5回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、2%粒剤の定植後の株元散布は1回以内、散布、くん煙および1%粒剤の株元散布は合計3回以内〕		
なす すいか		アブラムシ類 ミナミキロアザミウマ			4回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙および定植後の株元散布は合計3回以内〕		
メロン		アザミウマ類 アブラムシ類			3回以内		
ピーマン		アブラムシ類			3回以内 〔粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙および定植後の株元散布は合計2回以内〕		

殺 虫 剤 モスピランジェット

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	使用方法
アスパラガス	温室、ビニールハウス等密閉できる場所	アザミウマ類	くん煙室容積 400m ³ (床面積200m ²) ×高さ2m 当り50g	収穫前日まで	2回以内	2回以内	くん煙
ズッキーニ ズッキーニ(花)		アブラムシ類		収穫14日前まで			
ふ き				収穫前日まで	3回以内	3回以内	※1
みょうが (花穂)		アブラムシ類 カイガラムシ類		※2			
みょうが (茎葉)				収穫3日前まで			
みかん		コナカイガラムシ類 ホソオビツチイロノメイガ		収穫14日前まで	3回以内	3回以内	くん煙
ぶどう		カイガラムシ類		収穫35日前まで			
マンゴー		アブラムシ類		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
アセロラ		アブラムシ類		発生初期	5回以内	5回以内	
花き類・観葉植物 (トルコギキョウを除く)				ミカンキイロアザミウマ			
トルコギキョウ							

※1:みょうが(花穂)の使用法/くん煙、ただし花穂の発生期には花穂をマルチフィルム被覆した状態で使用する

※2:みょうが(茎葉)の使用時期/みょうが(花穂)の収穫前日まで ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

△ 効果・薬害などの注意

1. 温室・ガラス室・ビニールハウス等、防除しようとする室の戸や窓を閉め、室内の可燃物を取り除いてください。室の容積によって使用量を決め、必要に応じてくん煙箇所を数箇所に分けて配置し、煙が満べんなく行きわたるようにしてください。
2. くん煙する場合は、添付のつり具または所定の電気式点火・くん煙装置を使用してくん煙してください。つり具および電気式点火・くん煙装置は栽培作物の高さでつり下げるかまたは不燃性の台などの上のせて使用してください。なお、植物体・可燃物から離れた中央の安全な場所に設置してください。特にビニールなどの被覆材とは60cm以上離れた位置で使用してください。
3. 点火は以下のとおりに行ってください。
 - (1) 点火紙を用いる場合
同封の点火紙をつり具の所定の位置に正しく設置し、その上に薬剤をのせてから点火紙に点火してください。点火紙を薬剤の上のせて点火すると炎が出るのでさけてください。発煙直後に万一炎が出た場合は吹き消してください。点火後発煙を確認したらくん煙室の外に出てそのまま放置してください。
 - (2) 電気式点火・くん煙装置を使用する場合
装置は水などに濡れないように設置し、電源がオフになっていることを確認のうえ、薬剤を装置の所定の位置に正しく設置した後に通電してください。点火後発煙したら電源のオフを確認し、くん煙室の外に出てそのまま放置してください。発煙直後に万一炎が出た場合においても、再びくん煙室に入らずに、そのまま放置してください。
 - (3) 点火後はくん煙終了時までくん煙室に入らないでください。

4. 室外で強い風が吹いている時は、煙が片寄ってしまい、均一な効果がでにくいので、使用しないでください。
5. 定植直後または幼苗・軟弱徒長苗などには薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
6. 高温時のくん煙は薬害を生じるおそれがあるので、日中のくん煙はさけ、夕方からくん煙し、翌朝開放してください。
7. 蚕に長期間毒性があるので、付近に桑園のあるところでは使用しないでください。
8. 空袋、空缶は、圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
9. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
10. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

11. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
12. 点火などの作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
13. くん煙中はハウス内に入らないでください。また、くん煙終了後はハウスを開放し、十分に換気した後に入室してください。

治療法：本剤の中毒に対しては、動物実験でL-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であるとする報告もあります。

水産動植物への影響：水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、施設内に水産動植物を飼っている水槽等を置かないでください。空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、火気や直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に、カギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

●モスピランジェットの上手な使い方

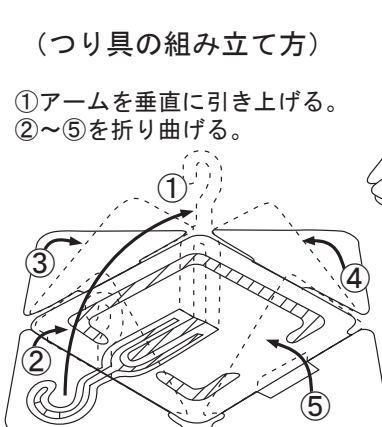
点火方法

薬剤に直接点火すると炎が出るので、下図のように点火紙に点火してください。万一、薬剤に着火した場合は、直ちに吹き消してください。

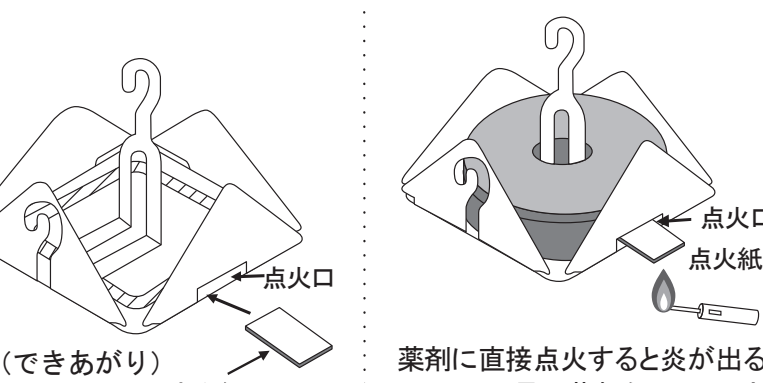
付属のつり具を使い、つり下げて使用する場合

(つり具の組み立て方)

- ①アームを垂直に引き上げる。
- ②～⑤を折り曲げる。



つり具の内面と外面を確認する



(できあがり)

つり具に薬剤をのせて、必ず点火紙を下にしく

薬剤に直接点火すると炎が出るので、つり具に薬剤をのせて、点火紙を点火口に正しくセットし、**点火紙の先端にマッチやライターなどで点火する。**点火紙に点火後、10～15秒後に発煙する。

つり具はケースの中に、点火紙は箱の中に入っています。